

## 一般会計

歳入  
約264億1692万円

歳出  
約246億4133万円

令和4年度の一般会計決算と特別会計決算（5議案）は、所管の常任委員会に付託され、審査されました。

委員会での審査結果は、いずれも「認定すべきもの」で、最終日の本会議での採決の結果、いずれも認定されました。

## 一般会計

### 職員研修事業

Q 執行率が78・4%と若干低い理由は。

A 新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの研修がオンラインやオンデマンドに変更され、会場に向く必要がなくなり、旅費の執行率が低かったなどの原因がある。

### 行政システム活用推進事業

Q デジタルトランスフォーメーションを踏まえた一層の情報化推進のための強固な地盤を構築するとは具体的に何か。

A 事務の効率化の仕組を導入するため、大容量、高速化に対応した機器を選定し、ウェブ会議の開催などを可能とした。また、埼玉県自治体情報セキュリティクラウドの更新により、インターネットを安全に利用できる環境を構築した。ほかにも専門的知見や技術などを持った外部人材を多く配置することにより、各課を支援する体制をとった。

### 鶴ヶ島駅周辺地区まちづくり構想等策定事業

Q 委託先の選考理由は。

A 提案価格が最も安価で、事業化に向けた提案が地区の実情を踏まえた具体的かつ現実的な内容であった。また、地域住民等の意見聴取の機会が多く、丁寧な策定プロセスであったことなどが挙げられる。

Q 今後の課題や留意点は。

A 5年間の長期計画であるため、適切な進行管理を行い、国の財源を効果的に活用できるように調整する必要がある。また、地域住民などと議論を重ねながら、行政と市民が一緒になってまちづくりを進めることが重要である。



鶴ヶ島駅西口

### 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業

Q 執行率が低い理由は。

A 補助の漏れが発生しないように対象者数を多く見積もっていた。全ての対象者に給付金は行き渡っている。

### 民間保育所等運営支援事業

Q 保育ステーションの送迎の利用状況は。

A 4年度の利用状況は、登録児童数が17人で利用児童の延べ人数が2998人である。

Q 事故の発生は。

A 数年の間報告はなく、安全に運行している。

### 健康長寿推進事業

Q 具体的な成果は。

A 県コバトン健康マイレージの参加者を増やすため、11月の歩数強化月間に規定歩数以上歩いた市民に対して抽選会を実施した結果、前年度より1129人増加した。また、ラジオ体操教室の実施や地域ラジオ体操会新規立ち上げ支援を行い、5か所で新たなラジオ体操会が立ち上がった。

Q シルバースポーツの認知機能維持効果の検証は。

A 筑波大学の関係会社に委託し検証したところ、シルバースポーツが情報処理速度の改善、短縮に対して有効であり、

また、共通の趣味を楽しむ情報を交換し合うことで、要介護化の抑制や情報格差の是正につながっていくと推察されるとの結果が出た。



### 感染症予防対策事業

Q 風疹の抗体検査及び予防接種の、無料クーポンの送付を受けて、予防接種をしたのか。

A 元年度から5年度7月末まで、対象者が9102人、そのうち3186人が抗体検査を実施した。また、このうち抗体価が低く接種が必要な700人のうち、578人が予防接種を受けた。

### 環境基本計画策定事業

Q コンサルタントを使う必要性は。

A 第2期環境基本計画の策定から10年経ち、政府がより明確に二酸化炭素抑制のための指針を打ち出すなどの変化があ